

ユーザー事例

# “圧倒的なスピードで眼前に現れるリアルなイメージは、頭に描いたものを「あるがまま」に提示する”



**polygon architects**  
山川佳伸 氏

建築インテリアプランニング、Vectorworksによる、教育機関・企業向けコンサルタント業務を行う。専門学校講師歴7年。  
ハイクオリティなレンダリングはVectorworks開発元、Nemetschek Vectorworks社も認めるほど。

## CG作成は職人的技術が必要だった

従来のRenderworksでは間接光の表現が苦手で、クオリティの高いCGの作成には職人的技術が必要でした。職人的技術とは、ダミーライトのような補助光源を置き、どのような仕上がりになるかを予想できるスキルです。またCG作成者の感性によって作品のイメージは大きく異なります。Renderworks2011は、簡単な設定で一回目のレンダリングからかなりイメージに近い画が得られます。

## BIM時代のレンダリング

実際に家を建てた場合、照明器具を置けば部屋は明るくなりますが、それがCGでも実現できなくてはなりません。照明や光のシミュレーションを行う際は、正確な設定の元、正確な明るさの結果が得られる必要があります。Renderworks2011は、エンジンを乗せ変えたことでそれを実現しました。とても明快な答えで、好感が持てます。

## カラーブリードの少ない素直な表現

従来のRenderworksでラジオシティレンダリングを行うと、赤みがかった色合いになり、それをコントロールすることに多くの労力を割いていました。また、インテリアでは周辺環境からのカラーブリード(色にじみ)に悩まされました。Renderworks 2011は素直な色合いで表現されます。

## 計算のテストで現れる“1/6”的数字

エクステリア、インテリアともRenderworks2010とRenderworks2011の計算結果を比較すると、Renderworks2011は従来の“1/6”以下の時間で計算が終了します。プログラムの変更と、マシンの性能を使い切っているからこそ出せる数字です。

## バウンス回数は計算負荷になってない

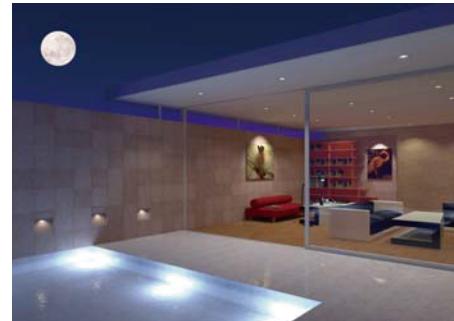
インテリアでテスト計算をさせた際、バウンス回数を上げて行っても大幅な計算時間の延長とはなりませんでした。2~4回程度のバウンス回数では、大きな負荷にはならないのだと思います。レンダリング結果を見て切換えて行けば良いです。たとえばRenderworksの設定では、屋外のリファレンスは1回となっています。ただしキャノピーのような深い底部に間接光を回り込ませる場合は、多数回の設定が必要になります。色々試してみると楽しいかと思います。

## 山川氏はRenderworks2011のこの機能に注目!!

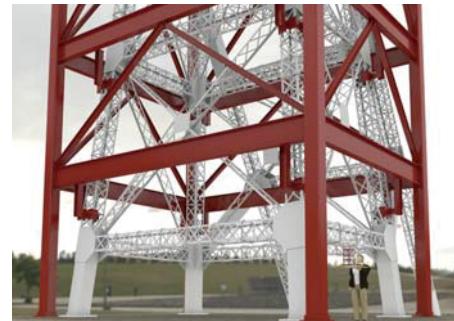
間接光の設定が簡単になったことは、ユーザとしてとても嬉しいです。唯一苦手であったインテリアパースがとても描きやすくなりました。間接光の設定プルダウンは、「なし」、「屋外、バウンス1回」、「標準、バウンス2回」、「室内、バウンス4回」の4種類だけです。この少ない設定で、クオリティの高いCGを作成できることは凄いなと思いました。CG職人ではなく、デザイナーの為のレンダリングツールになったと思います。



Renderworks2011でレンダリングしたCG。写実的な表現のCGも、短時間でできるようになった。



補助光を用いなくとも、Renderworks2011ならここまで表現できる。このCGは、必要な光源を配置しただけ。



HDRIを用いてのレンダリング。ソフトで自然な陰影が鉄骨をリアルに見せている。



この様な楽しいレンダリングも、Renderworksの特徴。使い方により表現の可能性が広がる。

## □平行光源によるシーンの各種レンダリングの計算時間と仕上がりの変化

RW:仕上げレンダリング レイトレス	RW:カスタムレンダリング レイトレス	RW:カスタムレンダリング + ファイナルギャザー	ラジオシティ:カスタムレンダリング + ファイナルギャザー	Vectorworks + Renderworks 2011
計算時間:3秒	マッピングによる影 計算時間:15秒	ディテールサイズ:100 精度:70% 計算時間:14分55秒	計算対象:4.85m 初期精度:2.43m 精度:50% エネルギー:50% 計算時間:1時間40秒	間接光 バウンス4回(ソフトシャドウ) 計算時間:20秒
テストモデル				
ディテールサイズ:250 精度:70% 計算時間:6分30秒	ディテールサイズ:500 精度:70% 計算時間:2分50秒	ディテールサイズ:1000 精度:70% 計算時間:1分45秒	ディテールサイズ:2000 精度:70% 計算時間:20秒	ディテールサイズ:500 精度:35% 計算時間(合計):14分5秒
計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:50% エネルギー:80% 計算時間:40分40秒	計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:50% エネルギー:40% 計算時間:27分30秒	計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:25% エネルギー:40% 計算時間:20分	計算対象:4.85m 初期精度:9.70m 精度:25% エネルギー:25% 計算時間:10分15秒	間接光 バウンス2回(屋内) 計算時間:9.5秒
計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:50% エネルギー:80% 計算時間:40分40秒	計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:50% エネルギー:40% 計算時間:27分30秒	計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:25% エネルギー:40% 計算時間:20分	計算対象:4.85m 初期精度:9.70m 精度:25% エネルギー:25% 計算時間:10分15秒	間接光 バウンス1回(屋外) 計算時間:5.5秒
計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:50% エネルギー:80% 計算時間:40分40秒	計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:50% エネルギー:40% 計算時間:27分30秒	計算対象:4.85m 初期精度:4.85m 精度:25% エネルギー:40% 計算時間:20分	計算対象:4.85m 初期精度:9.70m 精度:25% エネルギー:25% 計算時間:10分15秒	間接光 なし 計算時間:0.5秒

## □スポット光源、カスタム光源によるシーンの各種レンダリングの計算時間と仕上がりの変化

Vectorworks + Renderworks 2010	RW:カスタムレンダリング + ファイナルギャザー	RW:仕上げレンダリング バウンス4回	RW:仕上げレンダリング バウンス2回	RW:仕上げレンダリング バウンス1回	RW:仕上げレンダリング 間接光なし
■カスタム光源-IESファイル 計算時間:20分20秒	■スポット光源-拡散光65°、光束35° 計算時間:7分50秒	計算時間:1時間26分40秒	計算時間:2分40秒	計算時間:2分30秒	計算時間:2分15秒
■スポット光源-拡散光65°、光束35° 計算時間:7分50秒	■カスタム光源-IESファイル (RW:カスタムレンダリング) 全て最高品質	計算時間:35分	計算時間:1分20秒	計算時間:58秒	計算時間:45秒
■カスタム光源-IESファイル (RW:カスタムレンダリング) 全て中品質	■カスタム光源-IESファイル (RW:カスタムレンダリング) 全て低品質 アンチエイリアスoff	計算時間:1分15秒	計算時間:1分10秒	計算時間:37秒	計算時間:30秒

■レイトレーシング(マッピングによる影を除く)およびファイナルギャザーは、マルチコアに対応しているので計算時間が大幅に短縮されます。ラジオシティのエネルギー計算は、マルチコア非対応なため計算時間がかかりますが、ファイナルギャザーを併用することで、ラジオシティの計算精度を低く抑えながら品質を保ち、計算時間を短縮することが可能です。

※絶対的な計算時間は、コンピュータの計算能力によって変わります。使用したコンピュータは、Mac Pro(Quad-Core Intel Xeon 2.66GHz×2/12G)、ハイパスレッディングに対応したアプライケーションでは16スレッドで稼働します。

※CINEMA4Dレンダリングエンジンがマルチコア、ハイパスレッディングに対応しているため計算時間がとても短く、すべてのコアがレンダリング終了時まで稼働します。

〈資料提供: polygon architects / 取材:竹口太郎〉

【講演者情報】  
polygon architects

ベクターワークスジャパン株式会社  
<https://www.vectorworks.co.jp/>

【製品についての問い合わせ】[market@vectorworks.co.jp](mailto:market@vectorworks.co.jp)